

23J-am06

文字入り QR コードを用いた吸入指導動画への誘導による吸入療法の質向上の取り組み 最終報告

○小林 豊¹, 倉田 香織², 上路 彩芽³, 鈴木 高弘³, 伊丹 一海⁴, 渡邊 剛彦⁵, 橋爪 敦弘³, 土橋 朗², 北村 修¹ (¹富士宮市立病院, ²東京薬科大学, ³日本調剤株式会社, ⁴株式会社タカラ, ⁵A・T コミュニケーションズ株式会社)

【目的】吸入器に文字入り・色付きの二次元コードを直接的に貼付して動画に誘導する方法の有効性を明らかにすることが本研究の目的である。

【方法】白地に「青のセル」, 中心部に「使い方」の黄色文字を赤色で縁取りした QR コード (以下 LogoQ) を用いた。吸入器と使用説明書に LogoQ を貼付し、環境再生保全機構の動画サイトに誘導した。動画への誘導による効果は Drug Attitude Inventory (DAI) [治療への理解度]、6 点リッカート型設問[吸入療法に対する不安]、自覚症状の評価テストである Asthma Control Test (ACT) および COPD assessment test (CAT) スコア[治療効果]を用いて、配布前と配布後の 2 回の群の平均点を比較した。

【結果】対象薬剤を調剤した患者 122 名のうち、研究同意を得た患者は 50 名であった。10 月までに配布後の評価が完了した被験者 41 名 (平均年齢 54.2 歳) の動画視聴率は 51.2% で、吸入器本体の LogoQ からは、説明書からの約 4 倍のアクセスがあった。レスピマット/タービューヘイラー使用者群の平均値の改善は DAI (5.4→6.1)、吸入操作に不安がないか (3.8→3.9)、CAT (16.9→13.4) で認められ、DAI と CAT は動画視聴群で改善効果が大きかった。

【考察】動画へのリンク情報の提供により、治療方法への理解を深め前向きな治療態度への変化を促すことができた。また、動画情報には、自己流の見直しによる効果があることが示唆された。スマートフォンを所持しない為に同意が得られなかった人は 38.5% と多いが、動画視聴群の半数は家族などのスマートフォンからのアクセスであった。LogoQ は通常の QR コードと比較して視認性が高く、吸入器本体からの吸入指導用動画への誘導方法として優れた方法の 1 つである。